

**令和7年度福島県自主防災組織
リーダー研修会
実施報告書**

第1回：令和7年6月29日（日）

郡山市役所2階正庁

第2回：令和7年10月4日（土）

県会津若松合同庁舎新館2回大会議室

第3回：令和7年11月1日（土）

いわき市労働福祉会館3階大会議室

第4回：令和7年11月15日（土）

浪江町防災交流センター

**一般財団法人日本防火・防災協会
福 島 県**

令和7年度福島県自主防災組織リーダー研修会実施要領

1 目的

自主防災組織等の指導的立場にある者を対象とし、必要な知識、技能を習得させるとともに、その役割について理解を深め、その地域における自主防災組織の活性化のために活躍できる人材の育成等を図り、地域の防災力向上に資することを目的とする。

2 開催日時

令和7年6月29日（日）10:00～16:00

3 対象者

福島県内の自主防災組織リーダー（町内会長、防火クラブ会員、防災士）など（最大100名程度）

4 会場

郡山市役所2階 正庁（郡山市朝日一丁目23-7）

5 実施主体

主催：一般財団法人日本防火・防災協会、福島県

共催：郡山市

後援：総務省消防庁

6 研修内容

（1）講話

ア 行政の災害時の対応について（30分）

（講師：福島県災害対策課 佐々木主事）

イ 自主防災組織に求められることについて（仮題）（90分）

（講師：株式会社いのちとぶんか社 取締役 葛西 優香 氏）

ウ 要配慮者対策について（講和30分、ケース検討30分）

（講師：福島県災害対策課 吉田副主査）

（2）演習

災害図上訓練（DIG）（90分）

（講師：福島県災害対策課 馬場 大輔）

※ 講話イとウの間に昼食休憩（60分）

令和7年度福島県自主防災組織リーダー研修会
日 程 表

開催日：令和7年6月29日（日） 会場：郡山市役所2階 正庁

時 間	内 容
9:45	○ 受 付
10:00	○ 開 会 ○ 主催者あいさつ ・福島県災害対策課 主幹兼副課長 渡邊 啓晃
10:05	○ 講 話① 「行政の災害時の対応について」 ・講 師 福島県災害対策課 主事 佐々木 洋輔
10:35	5分間休憩
10:40	○ 講 話② 「自主防災組織に求められることについて（仮題）」 ・講 師 東日本大震災・原子力災害伝承館 常任研究員 葛西 優香 氏
12:10	昼 食
13:10	○ 講 話③ 「要配慮者対策について」※一部演習あり ・講 師 福島県災害対策課 副主査 吉田 浩一郎
14:10	○ 演 習 「災害図上訓練DIG」 ・講 師 福島県災害対策課 主査 馬場 大輔
15:40	○ 福島県地域防災サポーター、地区防災計画策定支援及び、自主防災組織補助金について
15:50	○ 閉 会、アンケート記入

令和7年度福島県自主防災組織リーダー研修会のアンケート結果

郡山市会場

受講者102人中アンケート回答101人

Q1 研修会に参加してみたの感想について

たいへん役に立った	74	73.3%
やや役に立った	22	21.8%
ふつう	3	3.0%
あまり役に立たなかった	0	0.0%
無回答	2	2.0%
計	101	100.0%

Q2 研修スケジュールについて

ちょうどよい	69	68.3%
もう少し長いほうがよい	6	5.9%
もう少し短いほうがよい	23	22.8%
その他 ※長い	1	1.0%
無回答	2	2.0%
計	101	100.0%

Q3 今後の活かし方について(自由記述) ※回答を一部抜粋して記載

- ・ 要配慮者対策の実践
- ・ 町内会に入っていないマンションの住人等との連携
- ・ 戸別訪問して名簿を作成
- ・ 自主防災組織を設立したい
- ・ 避難訓練ではなく避難さんぽを実践したい
- ・ 自主防災組織の形成
- ・ 地区、学校で共有したい 等

Q4 研修科目について

(1) 参考になった講義・演習について(複数可)

講話「行政の災害時の対応について」	31	30.7%
講話「自主防災組織に求められることについて」	77	76.2%
講話「要配慮者対策について」	60	59.4%
演習「災害図上訓練DIG要配慮者対策編」	64	63.4%

(2) 今後研修に取り入れて欲しい科目・実技(自由記述) ※回答を一部抜粋して記載

- ・ 地区防災計画の作成について
- ・ 避難所運営
- ・ SUG演習
- ・ 雪害対策

Q5 「特に印象に残った内容」「お気づきの点」「その他ご意見」などについて(自由記述)

※回答を一部抜粋して記載

- ・ 図上訓練に参加した方々の意識が高かった
- ・ 講話「自主防災組織が求められること」を聞いて涙がでるくらい感動した
- ・ DIGの時間が足りない
- ・ 要配慮者の情報共有に課題があると感じたため民生委員等と協力したい
- ・ もっと若い世代を参加させたい
- ・ 避難訓練は天候が良くない時も大切であること、平常時と災害時の行政の動きが分かった
- ・ 資料の文字が小さい

第1回



すぶくしまの参加者ら約50一喜多方市長会津喜多方商らがホームやえた。セシモ城良教員観光いさつし「一が、今後も年光誘客に取り魅力を磨き上

松本さんらたたえる

福島で県展入賞者の表彰式
台美術展覧会
彰式は最終日
市飯坂町のパ
術大賞に輝いた松本健さん
(棚倉町)らをたたえた。
日本画、洋画、彫刻、工
芸美術、書の5部門の入賞
者らが出席。鈴木正晃副知
事、県展運営委員長の酒井
昌之県美術家連盟会長があ
いさつした。鈴木副知事、
鈴木竜次県教育長、高橋英
子県立美術館長が入賞者に
表彰状を手渡した。(入賞
者は19日付、審査評は24日
付に掲載)

き、ファ
交者の氏
住所、
敷、送迎
記載し、
2福島市
島民報社
または
5333)
当日は猪
迎バスが
島民報社
電話0
61(平
後5時ま

新潟県は29日、東京電力
柏崎刈羽原発の再稼働に関
し、県民の意見を聞く公聴
会を始めた。花角英世知事
が是非を判断する前に県民
の意見を確認する方法の一
つとして挙げ、8月末まで
県内5カ所で開催する。同
原発が立地する同県柏崎市
民と刈羽村民が発言し「事
故時に安全に避難できな
い」「原発と共生してきた」
と賛否が交錯した。
県トラック協会推薦の柏
崎市に住む50代男性は、福

柏崎再稼働、初公聴会で賛否

島第1原発事故後に福島県
で震災復興の仕事に携わっ
た経験を踏まえ「柏崎刈羽
原発で災害が起きた時の復
興への段取りが確立されて
いない」と反対を表明。一
方、県商工会議所連合会推
薦で同市在住の60代男性は
賛成の立場で発言し、原発
で働く約6300人のうち
半数が地元住民だと訴え
「雇用でこれだけ地域に貢
献している企業は他に例が
ない」と述べた。
一般公募の刈羽村に住む

新人の大山氏が 郡山で決起集会

本県選挙区

ふくしま2025 参院選

参院選本県選挙区に参政
党公認で立候補を表明して
いる新人大山里幸子氏(51)
の総決起集会は29日、郡山
市駅前2丁目の時間貸し駐



減税政策の必要性な
どを訴える大山氏

80代女性は一東電に原発を
運転する適格性があるとは
信じられない」と再稼働に
反対した。
この日、18人の参加を予
定したが、2人が欠席し、
一般公募8人、団体推薦8
人だった。賛成7人、反対
5人、条件付き賛成2人、
1人が再稼働に「疑義があ
る」とし、残る1人は賛否
を明かさず事故時の老人福
祉施設の課題を挙げた。
県庁と柏崎市内の会場な
どをオンラインでつないで
実施した。花角氏は出席し
ていない。
進める。一人一人が日本を
大きく変える一歩を踏み出
してほしい」と訴えた。
田母神俊雄元航空幕僚長

いわき市長選 告示まで2カ月 選挙戦が濃厚



清水敏男氏 内田広之氏

表明し、元職の清水敏男氏
(61)が立候補の意思を固
め、選挙戦が濃厚となっ
ている。この他、元衆院議員で
新人の宇佐美登氏(58)が候
補者として浮上している。
内田氏は市内に30以上の
後援会を張り巡らせ、準備
を進めている。29日には市
内で連合後援会の代表者会
議を開き、組織の引き締め
を図った。内田氏と一定の
距離を置いてきた市議国会
派「真政会」も出席。自民
系会派を中心に市議の支持

面めを急いでいる。
清水氏は7月8日に市内
で開く拡大役員会で立候補
を表明する見通し。早朝の
つじ立ちには地元の常磐地区
を中心に実施し、小名浜地
区などでも展開している。
市が抱える課題への提言動
画の発信も続けており、5
月上旬の開始から約2カ月
で約30本を投稿している。
立候補予定者説明会は7
月2日午後1時から、市役
所東分庁舎で行われる。市
選管委によると、6月2日
現在の有権者数は25万803
20人(男性12万6328
人、女性13万1992人)。

修会 県は
29日、郡山
市役所で開
き、町内会
長や防災士
ら約110
人が参加し
た。県災害
対策課の担
当者が、災
害時の行政
の動きや要
配慮者への
対応などを紹介した。いのちと
ぶんか社(浪江町)取締役の葛
西優香さんが阪神大震災の被災
経験を踏まえ、自主防災組織に
求められる役割などを語った
写真。災害を想定した図上訓
練も実施した。

きょうの知事日程
▽定例記者会見(午前10時、県
庁▽警備町現地視察(午後1時、
bandai corfee)。

6/30(月)
民報
2面

令和 7 年度福島県自主防災組織リーダー研修会 (地区防災計画策定実践研修会) 実施要領

1 目的

自主防災組織等の指導的立場にある者を対象とし、必要な知識、技能を習得させるとともに、その役割について理解を深め、その地域における自主防災組織の活性化のために活躍できる人材の育成等を図り、地域の防災力向上に資することを目的とする。

2 開催日時

会津若松会場：令和 7 年 10 月 4 日（土）10:00～16:15

いわき会場：令和 7 年 11 月 1 日（土）10:00～16:15

3 対象者

福島県内の自主防災組織リーダー（町内会長、防火クラブ会員、防災士）など

4 会場

会津若松会場：福島県会津若松合同庁舎 新館 2 階大会議室
(会津若松市追手町 7-5)

いわき会場：いわき市労働福祉会館 3 階大会議室
(いわき市平字堂ノ前 22)

5 実施主体

主催：一般財団法人日本防火・防災協会、福島県

共催：いわき市

後援：総務省消防庁

6 研修内容

講師：山口大学大学院 創成科学研究科 瀧本 浩一 准教授

(1) 講話

地区防災計画策定に係る知識について

(2) 演習

まち歩き及び災害図上訓練 (DIG)

スケジュール

※両会場とも同じスケジュールとなります。

時間	研修項目	内容
9:55~	開会・あいさつ	
10:00~	1 地区防災計画策定に係る知識について	地区防災計画の策定を進める上で知っておくべき知識を習得します。
11:00~	2 災害図上訓練D I G（その1）及び まち歩きの実践 （グループワーク形式及び会場周辺まち歩き）	災害図上訓練D I Gを用いて地域の特徴を把握し、それを踏まえて実際に会場周辺を歩く「まち歩き」を体験します。
12:30~	昼休憩 ※昼食は各自でお願いします。	
13:30~	3 まち歩きの整理と防災マップづくり （グループワーク形式）	まち歩きの結果を整理して、防災マップを作成します。
14:00~	4 災害図上訓練D I G（その2） （グループワーク形式）	防災マップをもとに災害図上訓練D I Gを行い、災害時の対応とそのための備えを検討します。
15:30~	5 計画づくりの検討（グループワーク形式）	総括として計画の骨子を検討します。
16:00~	6 地区防災計画と連携した個別避難計画の作成について ※県災害対策課より	地区防災計画と連携した個別避難計画を作成していくにあたって、今後の具体的手順や支援内容について説明します。（10分程度）
16:10~ 16:15	閉会	

令和7年度 福島県自主防災組織等リーダー研修会
 (地区防災計画策定実践研修会) 受講者名簿

会津若松会場

No.	市町村	職名	氏名	よみがな	班
1	会津坂下町	防災士	満田 光雄	みつた みつお	A
2	福島市	防災士	鈴木 ひとみ	すずき ひとみ	B
3	福島市	防災士	相良 一燈	さがら いちと	C
4	郡山市	防災士	長岡 三喜雄	ながおか みきお	D
5	郡山市	防災士	三浦 俊博	みうら としひろ	E
6	郡山市	防災士	橋本 尚美	はしもと なおみ	A
7	本宮市	防災士	安達 和也	あだち かずや	B
8	福島市	防災士	相良 和子	さがら かずこ	C
9	白河市	防災士	小針 達広	こばり たつひろ	D
10	磐梯町	行政区長	神田 徳男	かんだ のりお	E
11	磐梯町	行政区長	田中 守隆	たなか もりたか	A
12	磐梯町	行政区長	穴澤 一郎	あなざわ いちろう	B
13	磐梯町	磐梯町主査	白岩 祐介	しらいわ ゆうすけ	C
14	福島市	防災士	今野 通宏	こんの みちひろ	D
15	福島市	防災士	増田 比沙子	ますだ ひさこ	E
16	喜多方市	防災士	高橋 善秋	たかはし よしあき	A
17	福島市	防災士	大内 一朗	おおうち いちろう	B
18	会津若松市	防災士	渡部 巧	わたなべ たくみ	C
19	会津若松市	金堀自主防災組織	大堀 邦雄	おおほり くにお	D
20	会津若松市	南原地区防災会	佐藤 寿晴	さとう としはる	E
21	会津若松市	大豆田地区防災会	齋藤 浩二	さいとう こうじ	A
22	会津若松市	上雨屋地区防災会	二瓶 幸太郎	にへい こうたろう	B
23	会津若松市	上雨屋地区防災会	星 雄幸	ほし ゆうこう	C
24	会津若松市	上雨屋地区防災会	木村 秀幸	きむら ひでゆき	D
25	郡山市	自治会長	西澤 徹	にしざわ とおる	E
26	郡山市	防災士	喜古 克広	きこ かつひろ	A
27	郡山市	会社員	大和田 実	おおわだ みのる	B
28	郡山市	非常勤講師	遠藤 仁一	えんどう じんいち	C
29	猪苗代町	猪苗代町参事	小林 直美	こばやし なおみ	D
30	猪苗代町	区長	鈴木 孝二	すずき こうじ	E
31	東京都		丸尾 和久	まるお かずひさ	A
32	田村市		佐藤 圭太	さとう けいた	B
33	会津美里町	新屋敷新田自主防災会 会長	風間 和美	かざま かずみ	C
34	喜多方市	高畑区自主防災会 会長	庄司 仁	しょうじ まさし	D
35	喜多方市	獅子沢自主防災会 会長	新国 信人	につくに のぶと	E
36	喜多方市	寺町自主防災会 会長	渡部 潤一	わたなべ じゅんいち	A
37	喜多方市	三ツ山防災会 会長	笠井 三博	かさい みつひろ	B
38	三春町	防災士	伊丹 勇次郎	いたみ ゆうじろう	C
39	三春町	防災士	山田 俊嗣	やまだ としつぐ	D
40	いわき市	防災士	榎内 隆大	えのきうち たかひろ	E

令和7年度福島県自主防災組織リーダー研修会のアンケート結果

会津若松会場

受講者30人中アンケート回答30人

Q1 研修会に参加してみたの感想について

たいへん役に立った	23	76.7%
やや役に立った	7	23.3%
ふつう	0	0.0%
あまり役に立たなかった	0	0.0%
無回答	0	0.0%
計	30	100.0%

※特に参考になった研修項目・内容

- ・先生の講義が大変参考になった
- ・町歩きから計画、策定
- ・現場確認
- ・付箋紙、ビニールの使用が参考になった
- ・説が良かった
- ・防災計画の作成手順
- ・全ての流れ
- ・地域の人を動かす
- ・机上の考えは限界があり、実際に歩くことが重要
- ・手順
- ・地域防災計画作成 DIG

Q2 研修スケジュールについて

とても良かった	26	86.7%
良かった	4	13.3%
あまり良くなかった	0	0.0%
良くなかった	0	0.0%
無回答	0	0.0%
計	30	100.0%

※理由を記載

- ・聴き手のの興味をうまく引いて良かった
- ・かなり面白く防災を学べましたが同時に危機感も感じました
- ・具体的に何をやればいいのかわかったこと
- ・話術が良く飽きずに興味がある話でした
- ・厳しい感じではなく笑いもあり楽しめわかりやすかった
- ・防災計画の重要性

Q3 今後、地区防災計画策定支援をお住まいの地区で受けて地区防災を作成したいですか。

ア 作成したい	23	22.8%
イ 作成したいとはおもわない	1	1.0%
ウ 無回答	6	5.9%
計	30	29.7%

※無回答の理由

- ・すでにできている
- ・現在実施中
- ・市と地区で取組を始めている

Q4 全体を通して意見等ありましたら記入願います。

- ・7軒の地区なので北区防災計画は難しい
- ・今後も定期的な研修は必要と感じます
- ・今後もどんどん実施して頂きたい
- ・市町村毎に開催して欲しい

- 時間が足りなくてももう少し行いたかった
- 町内会の役員で要支援者の所在確認を予定しているので大変参考になりました
- 町内会で自主防災会が編成されたが、まだ十分な周知ができておらずこれを出発点として住民に周知していきたい
- **地域防災計画作成の流れを理解**
- **防災について話す機会が欲しい**
- 机上論＋街見回りだと危機意識を強く持てると感じた
- 知らない人たちの考えや意見が聞けた。メンバーも楽しくて良かった
- 防災について初めての研修で放哉の意識が高まった
- 行政区長の任期の都合上、去年の早い段階で受講したかった

第2回



令和 7 年度福島県自主防災組織リーダー研修会 (地区防災計画策定実践研修会) 実施要領

1 目的

自主防災組織等の指導的立場にある者を対象とし、必要な知識、技能を習得させるとともに、その役割について理解を深め、その地域における自主防災組織の活性化のために活躍できる人材の育成等を図り、地域の防災力向上に資することを目的とする。

2 開催日時

会津若松会場：令和 7 年 10 月 4 日（土）10:00～16:15

いわき会場：令和 7 年 11 月 1 日（土）10:00～16:15

3 対象者

福島県内の自主防災組織リーダー（町内会長、防火クラブ会員、防災士）など

4 会場

会津若松会場：福島県会津若松合同庁舎 新館 2 階大会議室
(会津若松市追手町 7-5)

いわき会場：いわき市労働福祉会館 3 階大会議室
(いわき市平字堂ノ前 22)

5 実施主体

主催：一般財団法人日本防火・防災協会、福島県

共催：いわき市

後援：総務省消防庁

6 研修内容

講師：山口大学大学院 創成科学研究科 瀧本 浩一 准教授

(1) 講話

地区防災計画策定に係る知識について

(2) 演習

まち歩き及び災害図上訓練 (DIG)

スケジュール

※両会場とも同じスケジュールとなります。

時間	研修項目	内容
9:55~	開会・あいさつ	
10:00~	1 地区防災計画策定に係る知識について	地区防災計画の策定を進める上で知っておくべき知識を習得します。
11:00~	2 災害図上訓練D I G（その1）及び まち歩きの実践 （グループワーク形式及び会場周辺まち歩き）	災害図上訓練D I Gを用いて地域の特徴を把握し、それを踏まえて実際に会場周辺を歩く「まち歩き」を体験します。
12:30~	昼休憩 ※昼食は各自でお願いします。	
13:30~	3 まち歩きの整理と防災マップづくり （グループワーク形式）	まち歩きの結果を整理して、防災マップを作成します。
14:00~	4 災害図上訓練D I G（その2） （グループワーク形式）	防災マップをもとに災害図上訓練D I Gを行い、災害時の対応とそのための備えを検討します。
15:30~	5 計画づくりの検討（グループワーク形式）	総括として計画の骨子を検討します。
16:00~	6 地区防災計画と連携した個別避難計画の作成について ※県災害対策課より	地区防災計画と連携した個別避難計画を作成していくにあたって、今後の具体的手順や支援内容について説明します。（10分程度）
16:10~ 16:15	閉会	

**令和7年度 福島県自主防災組織等リーダー研修会
(地区防災計画策定実践研修会) 受講者名簿**

いわき会場

No.	市町村	職名	氏名	よみがな	班
1	いわき市	防災士	菅野 昭夫	かんの あきお	A
2	浪江町	防災士	白鳥 美紀	しらとり みき	B
3	富岡町	防災士	深谷 美德	ふかや よしのり	C
4	郡山市	防災士	相楽 義晴	さがら よしはる	D
5	いわき市	防災士	大河内 喜男	おおこうち よしお	E
6	郡山市	防災士	蓬田 和子	よもぎた かずこ	F
7	福島市	防災士	菅野 篤司	かんの あつし	G
8	三春町	防災士	只野 忠一	ただの ちゅういち	A
9	福島市	防災士	永井 等	ながい ひとし	B
10	いわき市	防災士	鈴木 清至	すずき きよし	C
11	いわき市	防災士	川井 清裕	かわい きよひろ	D
12	いわき市	防災士	清水 利裕	しみず としひろ	E
13	いわき市	金山西方部自主防災会、 防災士	澤田 廣	さわだ ひろし	F
14	いわき市	防災士	河間 博仁	かわま ひろひと	G
15	いわき市	防災士	吉竹 徳昭	よしたけ のりあき	A
16	いわき市	防災士	石井 正一	いしい しょういち	B
17	いわき市	好間女性消防クラブ 防災士	井上 久美子	いのうえ くみこ	C
18	いわき市	防災士	藤田 美由紀	ふじた みゆき	D
19	いわき市	防災士	矢野 弘之	やの ひろゆき	E
20	いわき市	防災士	大方 俊吾	おおかた しゅんご	F
21	いわき市	防災士	鈴木 明美	すずき あけみ	G
22	いわき市	防災士	木村 祐司	きむら ゆうじ	A
23	いわき市	防災士	鈴木 泰宏	すずき やすひろ	B
24	いわき市	中央台鹿島3区 自主防災会、防災士	柏谷 裕司	かしわや ゆうじ	C
25	いわき市	防災士	桶田 隆司	おけだ たかし	D
26	いわき市	窪田4自主防災会 防災士	緑川 琴江	みどりかわ ことえ	E
27	いわき市	防災士	大平 紗彩	おおひら さあや	F
28	いわき市	防災士	大越 吉弥	おおこし よしや	G
29	いわき市	荒田目自主防災会 防災士	大友 宏安	おおとも ひろやす	A
30	いわき市	防災士	江尻 幸則	えじり ゆきのり	B
31	いわき市	防災士	熊谷 一佐	くまがい かずさ	C
32	いわき市	防災士	辻 勝己	つじ かつみ	D
33	いわき市	小島町自主防災会 防災士	遠藤 崇広	えんどう たかひろ	E
34	いわき市	防災士	初鹿 芳司	はつしか よしじ	F
35	いわき市	防災士	高橋 淳文	たかはし あつふみ	G
36	三春町	滝地区 副区長	橋本 昇	はしもと のぼる	A
37	いわき市	防災士	栗原 清和	くりはら きよかず	B

令和7年度 福島県自主防災組織等リーダー研修会
(地区防災計画策定実践研修会) 受講者名簿

いわき会場

No.	市町村	職名	氏名	よみがな	班
38	いわき市	防災士	鈴木 淳一	すずき じゅんいち	C
39	いわき市	防災士	鈴木 仁太	すずき じんた	D
40	いわき市	防災士	渡部 久志	わたなべ ひさし	E
41	郡山市	防災士	日下 俊一郎	くさか しゅんいちろう	F
42	東京都		井田 真由美	いだ まゆみ	G
43	埼玉県		市村 久美子	いちむら くみこ	A
44	茨城県		桃井 真人	ももい まさと	B
45	茨城県		米川 徹	よねかわ とおる	C
46	東京都		矢野 傑	やの すぐる	D
47	東京都		片方 雅義	かたがた まさよし	E
48	東京都		本杉 優和	もとすぎ まさかず	F
49	三春町	防災士	遠藤 茂	えんどう しげる	G
50	三春町	防災士	佐久間 千佳	さくま ゆきよし	A
51	三春町	滝地区 区長	橋本 好恵	はしもと よしえ	B

令和7年度福島県自主防災組織リーダー研修会のアンケート結果

いわき会場

受講者36人中アンケート回答36人

Q1 研修会に参加してみたの感想について

たいへん役に立った	32	88.9%
やや役に立った	4	11.1%
ふつう	0	0.0%
あまり役に立たなかった	0	0.0%
無回答	0	0.0%
計	36	100.0%

※特に参考になった研修項目・内容

- ・町歩き
- ・防災、減災の解説
- ・具体的な例を基に説明
- ・共助→自助→共助
- ・災害前でも共助が大事、自助ではやらないから共助
- ・ひとつひとつのワークで行ったことが地区防災計画が完成ついで防災
- ・地区防災計画が理解できた
- ・DIGの作成、防災計画への展開
- ・町歩きは実際歩いたことで気付くこともあった。別の地区の方も自分の地区を見て歩くのもいいと思った。
- ・自主防災について
- ・災害図上訓練 DIG
- ・結果の整理の仕方

Q2 研修スケジュールについて

とても良かった	32	88.9%
良かった	4	11.1%
あまり良くなかった	0	0.0%
良くなかった	0	0.0%
無回答	0	0.0%
計	36	100.0%

※理由を記載

- ・非常に分かりやすかった
- ・面白かった
- ・先生の話が楽しくて、ためになった
- ・リアルな災害が想像できたのがとても良かった
- ・話術が面白い
- ・厳しい感じではなく笑いもあり楽しめわかりやすかった

Q3 今後、地区防災計画策定支援をお住まいの地区で受けて地区防災を作成したいですか。

ア 作成したい	33	32.7%
イ 作成したいとはおもわない	0	0.0%
ウ 無回答	3	3.0%
計	36	35.6%

※無回答の理由

- ・すでにあると思います
- ・作成したいがコミュニケーションが不足しているので、もう少し地域に溶け込んでから
- ・難しい

Q4 全体を通して意見等ありましたら記入願います。

- ・防災士取得したい
- ・町歩き良かった
- ・とても良い研修で参考になりました
- ・講師のお話で、取りかかるためのハードルを下げた講座はもう古いと感じました。資格取得して終わりではなく実践を見越した学びがもっと必要と思いました

- 楽しく学ぶことができ、県の取り組みもとてもいい
- 自分の地区でも活動を広げていきたい
- あらためて地区の事を知って防災活動をすすめたいと思います
- 一日でこれだけの内容を実施するには短いと思いました
- **講演の頻度を増やして欲しい**
- **県が計画づくりをサポートしているという周知が不足している**
- 地域の高齢者（介護予防）×防災の取り組みをしていきたい
- 自分のマンションの防災でDIGを実施してみます
- 地区の集会とのつながり作りが必要
- 実際に歩いてDIG作成することが大事
- 個人情報対策がよく理解できた
- 災害の少ない地域（農村）ですが参考になりました
- 地域の為に何か行動をしたいと思います
- 組織作りから始めていかななくてはならない
- 半世紀以上自然災害のない地域に居住しているため、地域内で起きるとは誰も考えてないと思う地域
- 内での自然災害の防災活動を呼びかけても地域住民の反応は低いと感じている私は知識として受講させてもらってる

第3回





「まち歩き」を通じて消火栓など防災のポイントとなる箇所を確認する参加者

地区防災の基礎学ぶ

「計画」作り方、まち歩き

県、いわきでリーダー研修会

県の自主防災組織リーダー研修会は3日、いわき市の労働福祉会館で開かれた。同市を中心に自治会や地区で活動する防災士の約40人が参加し、減災・防災の基礎となる「地区防災計画」の作り方を学んだ。

地区防災計画は自治会などの単位として、住民自らの

まいりくひが講師を務め、自主的な減災・防災の重要性について解説。参加者が会場周辺を「まち歩き」し、被災に役立つ施設や災害時に危険となるような場所などを確認した。

参加者は再び会場に戻り、まち歩きで確認したポイントを実際の地図上に落とし込んだ。その上で震度6強の地震と強い台風の接近という二つの想定を、どのような行動をとるべきかを考える災害図上訓練(DI

G)を行った。

参加者は取るべき行動や事前に行っておかなければならない準備、運営するのに必要な組織などを付箋で書き出した。その後、浦本准教授の指導で、付箋を書き出した内容を基に地区防災計画の骨子をつくる作業に取り組んだ。

県は同様の研修を1回2時間程度、3回ほどを繰り返し、地区防災計画の基礎をきひる」となる。講座を準備している。問い合わせは県災害対策課(電話024-5521-7194)へ。

研修会では山口天大学院の浦本浩一准教授(防災・

令和7年度福島県自主防災組織リーダー研修会実施要領

1 目的

自主防災組織等の指導的立場にある者を対象とし、必要な知識、技能を習得させるとともに、その役割について理解を深め、その地域における自主防災組織の活性化のために活躍できる人材の育成等を図り、地域の防災力向上に資することを目的とする。

2 開催日時

令和7年11月15日（土）10:00～16:00

3 対象者

福島県内の自主防災組織リーダー（町内会長、防火クラブ会員、防災士）など（最大100名程度）

4 会場

浪江町防災交流センター（双葉郡浪江町室原八龍内22-1）

5 実施主体

主催：一般財団法人日本防火・防災協会、福島県
後援：総務省消防庁、浪江町

6 研修内容

(1) 講話

ア 行政の災害時の対応について

（講師：福島県災害対策課 佐々木主事）

イ 「気象情報と防災行動について」

（講師：気象防災アドバイザー 斎藤 恭紀 氏）

ウ 「やさしい日本語」講座

（講師：やさしい日本語コーディネーター（(公財)福島県国際交流協会 外部講師）福島 哲也 氏）

(2) 演習

災害図上訓練（DIG）（90分）

（講師：福島県災害対策課 馬場 大輔）

※ 講話イとウの間に昼食休憩（60分）

令和7年度福島県自主防災組織リーダー研修会
日 程 表

開催日：令和7年11月15日（土） 会場：浪江町防災交流センター

時 間	内 容
9:45	○ 受 付
10:00	○ 開 会 ○ 主催者あいさつ ・福島県災害対策課 主幹兼副課長 渡邊 啓晃
10:05	○ 講 話① 「行政の災害時の対応について」 ・講 師 福島県災害対策課 主事 佐々木 洋輔
10:35	5分間休憩
10:40	○ 講 話② 「気象情報と防災行動について（仮題）」 ・講 師 気象防災アドバイザー 斎藤 恭紀 氏
12:10	昼 食
13:10	○ 講 話③ 「やさしい日本語」講座 ・講 師 やさしい日本語コーディネーター ((公財) 福島県国際交流協会 外部講師) 福島 哲也 氏
14:10	○ 演習 「災害図上訓練DIG」 ・講 師 福島県災害対策課 主査 馬場 大輔
15:40	○ 福島県地域防災サポーター、地区防災計画策定支援及び 自主防災組織補助金について
15:50	○ 閉 会、アンケート記入

令和7年度 福島県自主防災組織等リーダー研修会受講者名簿

No.	市町村	団体名	職名	氏名	班
1	南相馬市		防災士	田中 徳	A
2	いわき市		防災士	小野 操	B
3	富岡町		防災士	深谷 美德	C
4	須賀川市			須釜 誠	D
5	双葉町	双葉町駅西住宅自主防災会		國分 信一	E
6	福島市		防災士	今野 孝明	A
7	福島市		防災士	関口 浩	B
8	福島市		防災士	永井 等	C
9	いわき市	金山北方部自主防災会	登録防災士	吉田 立夫	D
10	いわき市	四倉町塩木自主防災会	登録防災士	大谷 邦廣	E
11	いわき市	明治団地自主防災会	登録防災士	青柳 康衛	A
12	いわき市		登録防災士	小野 薫	B
13	いわき市		登録防災士	辻 勝己	C
14	南相馬市			江井 隆	D
15	南相馬市			井戸川 定弘	E
16	南相馬市			西内 光枝	A
17	南相馬市			田中 邦男	B
18	南相馬市			阿部 光浩	C
19	南相馬市			菅野 光吉	D
20	南相馬市			紺野 典郎	E
21	南相馬市			末永 正幸	A
22	南相馬市			番場 栄行	B
23	南相馬市			菅原 紀子	C
24	南相馬市			番場 忠之	D
25	南相馬市			秋葉 美知子	E
26	南相馬市			羽根田 正	A
27	南相馬市			庄司 直己	B
28	南相馬市			佐藤 廣	C
29	南相馬市			大瀬 孝夫	D
30	伊達市			栗原 和久	E
31	福島市	福島県原子力防災を考える会 (仮)		須藤 聡子	A
32	福島市	福島県原子力防災を考える会 (仮)		佐藤 美佳	B
33	会津若松市	福島県原子力防災を考える会 (仮)		菊地 良和	C
34	会津若松市	福島県原子力防災を考える会 (仮)		菊地 茂子	D
35	いわき市		防災士	榎内 隆大	E

Q6 お住まいの地域での地区防災計画の策定に興味のある方は、後日担当者より御連絡差し上げますので、以下の①～④を記入願います。「地区防災計画策定支援事業」により地区防災計画の策定を県が支援いたします。※興味のない方は記入不要です。

①日中連絡が取れる電話番号（ ）

②防災士資格 有・無

③地域防災サポーター登録 有・無

④お住まいの市町村（ ）

Q7 地域防災サポーターによる「マイ避難推進講習会」に興味のある方は、後日担当者より御連絡差し上げますので、以下の①～④を記入願います。※興味のない方は記入不要です。

①日中連絡が取れる電話番号（ ）

②防災士資格 有・無

③地域防災サポーター登録 有・無

④お住まいの市町村（ ）

御協力ありがとうございました。

アンケートは後ほど回収いたしますので、机の上に置いてお帰りください。

令和7年度福島県自主防災組織リーダー研修会のアンケート結果

浪江町会場

受講者35人中アンケート回答35人

Q1 研修会に参加してみたの感想について

たいへん役に立った	31	88.6%
やや役に立った	4	11.4%
ふつう	0	0.0%
あまり役に立たなかった	0	0.0%
無回答	0	0.0%
計	35	100.0%

Q2 研修スケジュールについて

ちょうどよい	27	77.1%
もう少し長いほうがよい	4	11.4%
もう少し短いほうがよい	3	8.6%
その他 ※長い	0	0.0%
無回答	1	2.9%
計	35	100.0%

Q3 今後の活かし方について(自由記述) ※回答を一部抜粋して記載

- ・防災運動会や防災ウォーキングは、とてもよい方法だと思うので何か機会を見つけて提案していきたい。防災運動会を開催して日頃の訓練をしたい。
- ・地域のコミュニティー作りと地域のリスクのある場所の再確認し、自主防災を地域や家族に伝えていきたい。
- ・防災についてさらに学んだり、学んだことを活かして訓練したい。
- ・会社の中で勉強会を行う。
- ・山間部に居住してるため、地域の防災に関わる機会がないが地域の手助けができるよう知識を深めたい。
- ・気象防災
- ・地域防災計画を作成し積極的に働きかけたい。町内会の役員にも伝えたい。
- ・DIG演習で、平時からの準備が必要と感じました。(行政区の要配慮者などの確認が十分できていない)

- ・ 作成済（小高区）
- ・ 専門の話などが聞けて良かった。
- ・

Q4 研修科目について(自由記述) ※回答を一部抜粋して記載

(1) 今後研修で参考になった講義・演習等がありましたら、○をつけてください。(複数可)

①ア「行政の災害時の対応と地域防災活動について」	15	14.9%
②イ「気象情報と防災行動について」	31	30.7%
③ウ「やさしい日本語講座」	22	21.8%
④演習「災害図上訓練 (DIG) 」	7	6.9%

(2) 今後研修に取り入れて欲しい科目・実技(自由記述) ※回答を一部抜粋して記載

- ・ 放射線防災
- ・ 災害が気象との関係が深く地域防災に取り組むことが大切だと思った。もう少し深く学びたい。
- ・ 炊き出し訓練
- ・ DIG訓練
- ・ 災害関連死を防ぐ人的支援について
- ・ 水害をしたので地震等の研修をしたい。

Q5 「特に印象に残った内容」「お気づきの点」「その他ご意見」などについて(自由記述)

※回答を一部抜粋して記載

- ・ やさしい日本語講座で外国人とのコミュニケーションの大切さが理解できた。講座を聴いて楽しかった。
- ・ 齋藤先生の講義は説得力があり非常に良かった。専門家の言葉には重みや参考になるところが多く役に立ち勉強になりました。
- ・ 気象学
- ・ 早めの行動・避難を心がけることが大切だと思った。
- ・ 班編成によってうまくいくかどうかはほぼきまる。
- ・ 気象情報を活用した適切な防災行動のあり方を地区防災の中で作り上げたいと思います。
- ・ 防災士の資格もなく初めての研修会で参加してみたが勉強になりました。
- ・ 2回目のDIGでしたが参加するメンバーによって着地点が大きく変わる事に気付きました。

第4回

